

## 新着案内



『あの人の調べ方ときどき書棚探訪 クリエイター20人に聞く情報収集・活用術』		
平山 亜佐子/著	笠間書院	T002/ヒア
『13歳からの哲学探究 自分を知るための問いと対話』		
堀越 耀介/監修	メイツユニバーサルコンテンツ	T100/シユ
『可愛い嘘のカワウソと旅する東京』		
	朝日新聞出版	T291/カワ
『みんなでつくる「読書バリアフリー」だれもが読める本のかたち』		
成松 一郎/著	河出書房新社	T369/ナイ
『動物と仕事がしたい! あこがれの職業から知る人ぞ知る職業まで』		
河出書房新社/編集	河出書房新社	T480/トウ
『友達のアヒルのぴーちゃん』		
友達/著	KADOKAWA	T646/トモ
『ねこのめ美じゅつかん 世界一やさしいアート入門』		
NHK『ねこのめ美じゅつかん』制作班/著	宝島社	T702/ネコ
『カナヘイの小動物ゆるっと♡カンタン旅行韓国語会話+SNS表現80』		
カナヘイ/イラスト 金 珍娥/文	Jリサーチ出版	T829/カナ
『小論文これだけ! 深掘り編』		
樋口 裕一・大原 理志/著	東洋経済新報社	T816/ヒユ
『中高生のための詩のつくりかた 言葉で世界を紡ぐ40のヒント』		
久谷 雉/監修	メイツユニバーサルコンテンツ	T901/チユ
『夜が明けたら、いちばんに君に会いにいこう Another Stories』		
汐見 夏衛/著	スターツ出版	TB/シナ
『コンビニ兄弟 テンダネス門司港こがね村店』 5		
町田 そのこ/著	新潮社	TB/マン



## ティーンズのココロ通信

令和8年2月1日 発行

Eメール: info@lib-yama.jp

HP: https://www.lib-yama.jp

山口市立中央図書館 266号

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL: 083-901-1040

FAX: 083-901-1144



# スイーツ



今月のテーマは「スイーツ」です。

2月14日と言えばバレンタインデー。スーパーやコンビニにもチョコレート商品がたくさん並び、甘いもの好きにはたまらない季節です。今月は様々な切り口で「スイーツ」な本を紹介しています。甘いものが苦手な方も本なら安心ですね。ぜひ手に取ってみてください。



●『銃とチョコレート』

乙一／著 講談社 T／オツ

近頃、リンツ少年の住む町ではお金持ちの家から財宝が盗まれる事件が続いています。現場に残されたカードにはお騒がせ怪盗ゴディバの名前。事件の解決にみんなのヒーロー名探偵ロイズが名乗りを上げました。リンツは憧れのロイズと行動を共にして、事件解決へと奔走します。果たして、無事に事件を解決して町の平和を取り戻すことはできるのでしょうか？ (S.E)

●『ケーキ王子の名推理(スペシャリテ)』 1

七月 隆文／著 新潮社 TB／ナタ

未羽はケーキに目がない高校生。というのも失恋時に美味しいケーキとめぐり逢い悲しみを乗り越えられてきたから。そして同じ学校に通う「冷酷王子」颯人は、世界大会で優勝も果たしたパティシエ青山を師匠と仰ぎ、彼の店で修行中。そのケーキ屋に未羽が訪れたことから2人の物語は始まります。恋も夢も甘いばかりではないけれど、颯人の名推理(聡明な割に恋愛の機微には疎い面もご愛嬌)や、未羽がしばしば炸裂させる熱い食レポに頁をめくる手が止まらなくなること請け合いです。 (R.S)

●『友チョコ BOOK 1000円で20人分作れる!』

主婦の友生活シリーズ／著 主婦の友社 T596／トモ

2月といえば…ビッグイベントの「バレンタインデー」ですよね。最近は「本命チョコ」より「友チョコ」や「マイチョコ」を贈る傾向が高いとか。だったら、この本。お菓子作りが初めての人でも簡単にできるし、一度にたくさんできちゃう。かわいいラッピングの仕方も載っていて、感謝や応援の気持ちを伝えるにはちょうどいい。

楽しいバレンタインデーになりますように。 (T.O)

●『スイーツオノマトペ』

福田 里香／料理と文 筑摩書房 T596／フリ

「さくさく」とか「もちもち」などの食べ物を表現するオノマトペって、わくわくしませんか？そんな美味しいオノマトペとお菓子のレシピが一緒になった本です。レシピ本といっても普通のものとは少し違います。作る過程の写真ではなく、お菓子から連想したイラストや写真がたくさん載っていて、まるで絵本のような可愛いデザインとなっています。お菓子の楽しさや魅力がたくさん詰まった、人にプレゼントしたくなる1冊です。 (S.E)

●『和菓子のアン』

坂木 司／著 光文社 /サツ

いくつもの名前を持つ和菓子があります。搗かずに作るから「つきしらず」。そこから「北窓」や「夜舟」といった名称も生まれたこのお菓子は、その手軽さからお彼岸に家庭でも作られています。正体が気になる人はぜひ本書「萩と牡丹」の章を読んでみてください。俳句のように季語や言葉あそびがあり、そういった背景を知ることにより楽しめる和菓子。「みつ屋」で働き始めた主人公、杏子(通称アンちゃん)と共に和菓子の魅力に触れてみませんか。 (R.S)

●『お菓子の本の旅』

小手毬 るい／著 講談社 T／コル

1冊のお菓子の本(正確には手書きのレシピノート)をめぐるお話。お菓子の本がどんな旅をするのか気になりますね。中学生の遙がアメリカにホームステイをしたことから始まり、中学生の淳のおじいちゃん「パンとお菓子の店」の話になり、図書館で働くちえさんへと話が続く。ちえさんのおばあちゃんの「夢は消えない。なくならないよ。」という言葉信じて「できることから始めましょう。」お菓子のように甘く、心温まるお話。 (T.O)